

多賀大社

1300年以上の歴史を持つ多賀大社。日本最初の神であるイザナギノミコト・イザナミノミコトを祭神としている。二神は日本の国土や山川草木・八百万の神々をお生みになった。最後に生まれた天照大神は伊勢神宮のご祭神であることから、「お伊勢参らばお多賀へ参れ、お伊勢、お多賀の子でござる」と謡われる。このように多賀の大神は命の親神として、延命長寿・縁結び・厄除けの神様として多くの信仰を集めてきた。この他にも数多くの伝承や、太閤秀吉寄進の太閤橋など文化財が存在する。



P 多賀町役場の駐車場をご利用ください

「国生みの物語」 (スペシャル演出 11/11.金~13.日) あかりの解説

神代から続く多賀大社の歴史に思いをはせ、音と光のスペシャル演出を行います。祈りの石ころや神木の木立が和楽器の旋律とともに輝きます。天空へと延びる光の柱は、神への畏怖や敬意を表します。

「祈りの石ころあかり」 (10/21.金~11/13.日)

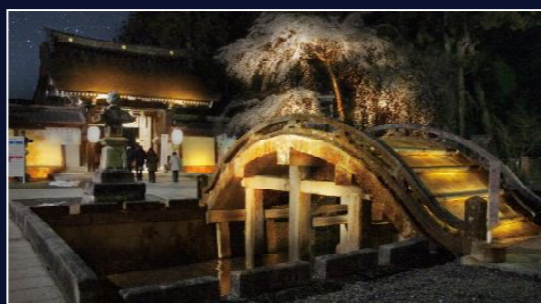
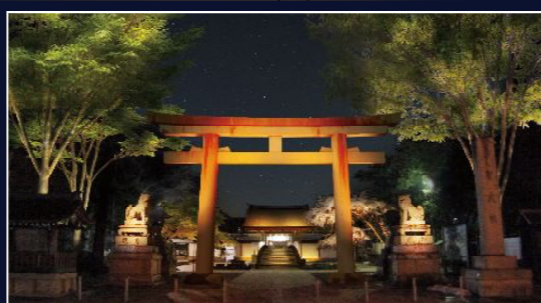
多賀町住民によって手づくりされた1万個の石ころ。人々の多賀町への想いが、様々な色彩を帯びて輝きます。

「境内ライトアップ」 (10/1.土~11/30.水)

大鳥居や太閤橋など点在する多賀大社の魅力を、静かな光で照らします。虫の音や風の音とともに静かな多賀の夜を感じてください。

「絵馬通りまちあかり」 (10/1.土~11/30.水)

大社の門前町では町衆のあかりが灯ります。各家が所蔵するおそろいの提灯が、通りの風情を醸し出します。



胡宮神社



イベントポイント!
雅楽演奏
近江猿樂多賀座による演奏

グルメポイント!
11/11(金)~13(日)
詳しくはイベントカレンダーをチェック!



胡宮神社の祭神は、多賀大社の祭神であるイザナギ・イザナミの子であるコトカツクニカツナガサノミコトです。胡宮神社は敏満寺の遺跡でもあり、境内に金堂や大門跡があるなど、典型的な神宮寺の形を残しています。胡宮の参道は、秋には「血染めのもみじ」と言われる美しい紅葉が有名で、祭礼の時にはこの坂を神輿が渡る神聖な場所です。

「神の庭・紅葉ライトアップ」 (10/1.土~11/30.水) あかりの解説

境内の豊かな紅葉は多賀町の秋の風物詩。今年は本殿のライトアップも行い歴史ある社殿の陰影も楽しんでいただけます。輝く紅葉の石段を一段ずつ上れば、心が清らかになるようです。

大瀧神社

大瀧神社は別名「滝之宮」とも呼ばれ、名前の通り神社に面する犬上川の清流は、約10mもの落差を流れ落ちながら奇岩怪岩の間を流れています。大瀧神社の祭神は、雨と水脈を司り、農作物の豊作を授ける神様であり、古くより旧大滝村の総鎮守として、また犬上川の水流域を護る神として崇敬されてきました。

「水の森・ブルーライトアップ」 (10/1.土~11/30.水) あかりの解説

森と溪流にいだかれた大瀧神社は多賀町のパワースポット。水をイメージしたブルーの光がゆっくりと変化し参道が輝きます。猿や鹿ものぞきにくるかもしれません。

高源寺

元は十福寺と呼ばれていましたが、戦国時代に廃寺となり江戸初期に再興され、天徳山高源寺として現在に至ります。最盛期には書院・仏殿・奥殿・禅堂などを要する大寺院で湖東における名刹でした。山門は石田三成の佐和山城から移築されたものです。この寺には、井伊直弼と長野主膳に献身した村山たかの肖像画があり、また、茶人井伊大老が始めたと伝えられる石州流直弼派「一会流」の「茶笑塚」も建てられています。

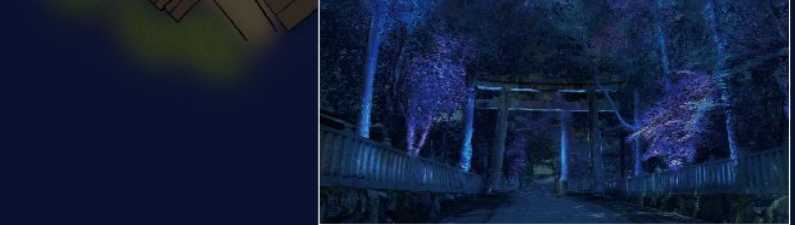


イベントポイント!
11/11(金)~13(日)
アート展、ワークショップ
美味しいものもいっぱい!



「山の庵・庭園ライトアップ」 (10/1.土~11/30.水) あかりの解説

普段はあまり見ることができない美しい庭園と紅葉をライトアップ。石田三成の佐和山城から移築された山門や鐘楼、井伊直弼を祖とする一会流の茶笑塚も輝きます。



*各イベント・出店の内容は予告なく中止・変更する場合がありますが、あらかじめご了承ください

